

お知らせ

本分野では、以下の介入試験データを活用した、疫学研究を実施しております。この介入試験は既に調査を終え、匿名化された研究情報をまとめることにより行います。

この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、下記の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】

「愛媛県産高アミロース米のグリセミックインデックス、ならびに食行動に関連する主観的・客観的指標の評価試験」

【研究機関】 愛媛大学大学院農学研究科地域健康栄養学分野

【研究責任者】 丸山広達

(愛媛大学大学院農学研究科地域健康栄養学分野准教授)

【研究の目的】

近年、糖尿病患者向けに、高アミロース米が開発されています。高アミロース米は、食物繊維も多く、消化吸収が比較的遅く、血糖上昇が標準米に比べて、幾分低いことが報告されています。また、米は植物であり、作付け地域によって適応する品種は異なります。したがって、愛媛県において、作付けした高アミロース米のグリセミックインデックスを評価することは、当該県在住の糖尿病患者にも幅広い食品選択の提供につながるとともに、糖尿病対策における地産池消を進めることにもつながると考えられます。そこで、本研究では、平成27年7～8月にかけて愛媛県において実施された、健常者を対象に、愛媛県産の高アミロース米のグリセミックインデックス、ならびに摂取後のインスリン、主観的な満腹感に関する介入試験のデータを活用して、高アミロース米の機能性を評価することを目的としました。

【研究の方法】

平成 27 年 7～8 月にかけて愛媛県において既に実施された介入試験（「愛媛県産高アミロース米のグリセミックインデックス、ならびに食行動に関連する主観的・客観的指標の評価試験」研究代表者：丸山広達・前順天堂大学）のデータを活用します。同試験では、研究協力者に愛媛県産高アミロース米と標準的な米飯を食べていただき、その 2 時間後までの血糖値、血中インスリン濃度を測定し、各米飯摂取後の血糖の反応からグリセミックインデックスを算出します。また、インスリンをはじめとする各種血液生化学検査指標を測定し標準米と比較することで、高アミロース米の機能性を評価します。

【個人情報の取り扱い】

本研究で用いられる研究データは全て研究機関において匿名化されており、個人を同定することはできません。また、本データについては、施錠のできる部屋に設置された、責任者が所有する解析専用のパソコンにて保管します。研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。なお、本研究に係る情報管理責任者も、丸山広達（愛媛大学大学院農学研究科）が担当いたします。

この研究の対象となられる方で「ご自身の受診情報は除外してほしい」と望まれる方は下記お問い合わせ先までご連絡下さい。

【問い合わせ先】

愛媛大学大学院農学研究科地域健康栄養学分野 丸山広達
〒 790-8566 愛媛県松山市樽味 3-5-7
Tel/FAX: 089-946-9960